令和6年度第2回大分市地域公共交通協議会 議事概要

1. 日 時 令和6年8月5日(月) 午後2時～2時40分
2. 会 場 大分市役所議会棟4階 全員協議会室
3. 出席者 別紙参照
4. 議 事

(1) 路線バス代替交通(柞原、机張原)について

[協議結果] 承認

(2) ふれあい交通「上白木ルート」の接続先の変更について

[協議結果] 承認

(3) 大分市地域公共交通計画の変更について

[協議結果] 承認

5. 質問・意見 次項参照

以上

記

(1) 路線バス代替交通(柞原、机張原)について **資料1**

番号	質問要旨	回答要旨
1	<p>【委員】 区間や時間帯によって予約が必要になるなど、運行パターンが複数あるため、運行開始前に沿線住民へ丁寧に説明を行ってほしい。</p>	—
2	<p>【委員】 停留所位置について関係機関との協議は行っているか。 タクシー乗り場位置への「西大分駅前停留所」の設置について、再度確認してほしい。</p>	<p>【事務局】 警察および各道路管理者と事前に協議を行っているが、「西大分駅前停留所」は、再度確認する。</p>

(2) ふれあい交通「上白木ルート」の接続先の変更について **資料2**

番号	質問要旨	回答要旨
—	—	—

(3) 大分市地域公共交通計画の変更について **資料 3**

番号	質問要旨	回答要旨
1	<p>【委員】 P4の白関線の2系統の年間利用者数の目標値は、令和2年度の実績値をもとにしているのか。 令和7年度以降、コロナ禍以前の令和2年度実績値まで回復する想定のようなのだが、回復する見込みはあるのか。</p>	<p>【事務局】 大分市地域公共交通計画と整合させ、令和2年度の実績値に基づいている。 フィーダー補助系統全体では、令和4年度(83,485人)から令和5年度(85,755人)にかけて回復傾向にある。 これまで、沿線住民に路線バスの実状を理解してもらうため、地元説明会や乗車体験会を実施しながら、利用促進に取り組んできている。今後もバス事業者と利用促進の取組を検討・実施し、利用者数の回復を目指したい。</p>

(4) その他

番号	発言要旨	回答要旨
1	<p>【委員】 各バス事業者において、路線休止に関して、どのような考えであるか</p>	<p>【委員】(大賀 委員代理) 路線バス事業は、利用者数の減少や燃料費の高騰により慢性的な赤字である上に、乗務員不足により、路線の維持は非常に困難な状況にある。 本年9月末には柞原、机張原線のほか、市外の一部路線についても休止を予定しているが、来年以降も路線休止や減便をする可能性はあり、今後、路線バス事業は縮小していくと考えられる。</p> <p>【委員】(岡本 委員) 休廃止路線を具体的には検討してはいないが、同様の課題を抱えており、今後検討していく可能性はある。</p>

以上